第 93 号　　令和 4 年 8 月 20 日

世田谷たすけあいネット ニュース

発行責任者：世田谷たすけあいネット　代表　駒澤　重光

世田谷たすけあいネットは人の応援が欲しい時、「手をかして」と気軽に言える、「あったかな地域」づくりをめざしています。平成１６年５月開始以来、高齢者の暮らしの困り事や悩みを解決すべく「無料で電話相談」にお答えし、情報の提供や出張サポートを行っています。

皆さん　お変わりありませんか？

今年の夏は記録的な猛暑続きで高齢者の熱中症発症が多発しましたが、皆さんお変わりありませんでしょうか？また、コロナ禍の猛威は収まるどころか専門家も「大規模な感染拡大が継続しており、このままでは病院の病床逼迫はますます厳しい状況になる」と言っております。
まだまだ安心できませんのでくれぐれもお気をつけ下さい。
今回は奥沢あんしんすこやかセンターを訪問しましたので訪問記を掲載しました。ご一読下さい。
来月は 2 年ぶりに 9 月 27 日（火）に宮坂区民センターでボランティア研修会を開催する予定です。
お近くにボランティアに興味のある方がおられたらお誘いして下さい。

世田谷　あんすこ訪問記

第 16 回　　奥沢あんしんすこやかセンター

訪問者　藤澤 恒生

連日の猛暑の中、街路にサルスベリの紅の花が咲き乱れる 8 月中旬に奥沢あんしんすこやかセンターを訪問しました。コロナ禍は衰えを見せない状態が続いている時でしたが、管理者の篠崎広一様は快く訪問を受け入れて下さいました。
先ず、当方から現下のコロナ禍で活動がままならず利用者の皆さんからのご要望にお応えできないことも多いことをお話しするとともに、引き続き世田谷たすけあいネットにご支援、ご協力をいただけるようお願いしました。
篠崎様からは奥沢あんしんすこやかセンターの活動などについていろいろとご説明していただきました。
奥沢あんすこは奥沢 1 丁目～3 丁目、東玉川地区の、管内約 5000 人の高齢者等を職員 7 名で担当しておられます。
当エリアは昔から地域の高齢者の自主的な仲間づくりや社会参加意欲が盛んなので、社会福祉協議会やまちづくりセンターと共にそうした高齢者の諸活動の拡がりを支援しているそうです。
なかでも令和 2 年に世田谷区が制定した「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」に沿って”認知症の方を含めたすべての住民が地域で暮らし続けられるようにをモットーに”認知症カフェ”　や”認知症家族会”の活動に注力されておられるとのことです。
加えて、高齢住民のフレイル（加齢によって心身が老い衰え、社会とのつながりが減少した状態）防止を目指して、“奥沢あんすこ川柳”や“体操サークル”などいろいろな活動を展開しておられます。
また、社会福祉協議会が立ち上げた「高齢者のためのふれあいルーム」では、住民が自主的に運営する健康麻雀、料理の会、体操、トランプゲームの会等々のグループをつくり熱心に活動していますが、この活動にもあんしんすこやかセンターも積極的に支援、参加しているとのことです。
そして篠崎管理者から最後に「“高齢者に家から外に出てもらう”　“孤立死の防止”　“単身世帯の見守り”などをモットーに日々の活動を展開しています」という心強いお言葉をいただきました。
コロナ禍の中、急な申し出に快く応じていただき貴重なお話をいただいた篠崎様にお礼を申し上げ、世田谷たすけあいネットも地域高齢者のお困りごとに“ちょこっとサービス“で出来るだけお応えできるよう心がけたい、とお伝えして訪問を終えました。

●電話相談日：毎週火曜日　（火曜以外は取り次ぎ）　Tel　03－6413－1506　Fax　03－6413－1556
●次回ボランティアミーティング 9 月 20 日　第 3 火 13：00～14：30